

## ■ VISTA 5 ユーザーレポート

株式会社京都放送 様

VISTA 5

**KBS京都**

DスタジオをHD化、VISTA 5 国内1号機を導入



株式会社京都放送  
報道グループ  
三谷 卓也

### ニューススタジオ改修にあたって

KBS京都のDスタジオは、ニューススタジオでありながら、昼の月～金ベルトの生ワイド放送や、KEY局となる土日の競馬中継の受けサブや、地域密着のスポーツ番組の収録など多目的に活用されてきました。今回、HD化のため26年前の社屋移転以来始めての本格的更新となりました。限られた予算、また、映像及び音声などのシステム全てを狭いサブ内に収めなければならないという制約の中、制作技術のメンバーが中心となり、社員みんなで意見を出し合い協力しあって最善のものを造ろうという思いで改修工事にあたりました。

### 運用を開始して

日本で最初に発注させて頂いた VISTA 5 は、当社のテレビスタジオとして初めての本格的なデジタル卓の導入だったこともあり、最初は少し戸惑いもありましたが、中継で活用させて頂いている961や962等のアナログ卓と設計思想は同じであるということが判ってから、本当に親和性の高い音声卓であることを日々実感しております。

ニューススタジオであり、多目的なスタジオとして運用していることから、当然非常に多くの素材を扱っており、そのほとんど全てを同時に扱える能力を持たせて、フェーダーにも割り付けていますが、VISTA 5は、入力素材をフェーダー毎に表示できるので、レイヤー構造を安全に活用出来る様に造られていると思います。TVマスターと制作技術のスタッフが入れ替わりで運用していますが、なんら問題なく運用できています。

### VISTA 5 の機能面について

タッチパネルとロータリーエンコーダが融合した VISTONICS は、階層に入る感覚が無く、1タッチでの「EQ」「DYN」「PAN」等の選択と操作が可能で、センターコントロールタイプのデジタル卓とは操作性の高さで一線を画しています。AUXやマスター、INPUTをVISTONICSに自由に並べて、メーター表示を含めボリューム操作が出来るのも他には無い非常に便利な機能です。

LINK機能も、例えば使用MICチャンネルをリンクさせておけば、瞬時にそれらのMICのCOMPの入り切りや設定変更が可能なので、とても重宝しています。また、GPI/Oのやり取りが出来るカスタムスイッチがついており、今回、TALLY連動機能、COUGH THROUGH、MUTE OFF等々を設定しています。別途スイッチBOX等を置く必要

が無く設置位置も含めて設計の良さを感じます。

TVマスターのHD化改修工事が、このスタジオ改修の後に行なわれ、素材数等の確定が出来ていない状況でしたが、コンフィグレーション・ツールで、導入後に仕様の変更が可能な柔軟性の高さも非常に助かっています。今後の状況変化への対応も容易にできると思われま。STUDERのスタッフの方々には導入後も色々サポート頂き本当に助かっています。

### 今回の導入の最大のメリット

音声卓自体が幅 1500 mm・奥行 740 mmの小ささですし、音声システムは、INTCOMを含めてもラック1本で収まってしまうスペース効率の良さには、改めて驚嘆させられます。収容スペースの問題が今回の改修の最大のネックでしたから、STUDERの音声システムなしには、今回の改修は実現出来なかったと言っても、過言では有りません。

制作スタジオのHD化改修には42F仕様を制作スタジオ(Bスタジオ)のHD化改修工事がこの11月に控えています。新しく出たVISTA 5の42フェーダーを是非とも導入したいと考えています。またまた、日本での1号機の導入になりそうです。